

※令和4年度以降入学生用

学校番号	210
------	-----

令和4年度 地理歴史科

教科	地理・歴史	科目	地理総合	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	高等学校新地理総合（帝国書院） 新詳高等地図（帝国書院）						
副教材等	フォトグラフィア地理図説（とうほう）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・地理的空間概念の育成の一環として地図に親しむ。
- ・地理的事象に「なぜ」の視点を持つ。
- ・自然環境と、人間の生活・文化との関わりに関心を持つ。
- ・自然災害について地理的に理解し、自身の地域の防災について考察する。

2 学習の到達目標

- ・段階を追って地理的見方・考え方や技能を着実に身につける。
- ・地図に親しみ、地理的空間認識力を培う。
- ・世界の諸地域の生活・文化を多面的に理解する。
- ・地理的事象を、科学的に、世界的視野から地域のレベルまでとらえる。
- ・自然環境と自然災害について理解し、地域の防災・減災について多面的に理解、考察できる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	地上の自然現象や世界の文化の多様性、自然災害と防災について地理的な関心と課題意識を持ち、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。	日本・世界の諸現象を地理的観点から考察し、社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に認識し、それらを科学的に表現しようとしている。	社会的事象の地理的な見方・考え方を主体的に働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を行っている。また、地域の自然災害・防災について地理的に考察し、防災について主体的に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにあわせて評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和4年度以降入学生用

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	地図と地理情報システム	<ul style="list-style-type: none"> ・地球儀 ・地上の減少 ・緯度、緯線 ・経線、軽度 ・時差 ・地図の役割と種類 ・GISの活用 	<p>a: 日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に, 地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。現代世界のさまざまな地理情報について, 地図や地理情報システムなどを用いて, その情報を収集し, 読み取り, まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。</p> <p>b: 地図や地理情報システムについて, 位置や範囲, 縮尺などに着目して, 目的や用途, 内容, 適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し, 表現している。</p> <p>c: 地図や地理情報システムについて, よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究, 解決しようとしている。</p>	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト 提出ノート	提出ノート 振り返りシート
	結びつきを深める現代世界	<ul style="list-style-type: none"> ・国家の領域 ・日本の位置と領域 ・国家間の結合 ・貿易、交通、通信 ・観光のグローバル化 	<p>a: 現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に, 方位や時差, 日本の位置と領域, 国内や国家間の結びつきについて理解している。</p> <p>b: 現代世界の地域構成について, 位置や範囲などに着目して, 主題を設定し, 世界的視野から見た日本の位置, 国内や国家間の結びつきなどを多面的・多角的に考察し, 表現している。</p> <p>c: 現代世界の地域構成について, よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究, 解決しようとしている。</p>	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト 提出ノート	提出ノート 振り返りシート

※令和4年度以降入学生用

	<p>生活文化の多様性と国際理解</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地盤や地形 ・営力 ・山の地形 ・平野の地形 ・海岸の地形 ・その他の地形 ・ケッペンの気候区分 ・気候人間生活 ・ケッペンの気候区分 ・熱帯の生活 ・乾燥帯の生活 ・温帯の生活 ・寒帯・冷帯の生活 ・植生と人間生活 ・気候と農耕 ・民族、言語、宗教の理解 ・インドの歩みと民族、宗教 ・北アフリカ、西アジアの歩みと民族、宗教 ・ラテンアメリカの歩みと民族、宗教 	<p>a: 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。</p> <p>b: 世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>c: 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	<p>定期考査 確認テスト</p>	<p>定期考査 確認テスト 提出ノート</p>	<p>提出ノート 振り返りシート</p>
<p>2学期</p>	<p>世界の産業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・農業の発達 ・人間生活と農業 ・工業の発達と種類 ・工業と人間生活 ・アメリカ合衆国の産業 ・東アジアの産業 ・ヨーロッパの産業 	<p>A: 農業、工業の発達と近代化、地域差とその課題について理解している。</p> <p>b: 農業、工業の発達と近代化、地域差とその課題について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>c: 農業、工業の発達と近代化、地域差とその課題について、主体的に追及、解決しようとしている。</p>	<p>定期考査 確認テスト</p>	<p>定期考査 確認テスト 提出ノート</p>	<p>提出ノート 振り返りシート</p>

※令和4年度以降入学生用

	地球的課題と国際協力	<ul style="list-style-type: none"> ・地球環境問題 ・資源、エネルギー問題 ・人口問題 ・食糧問題 ・都市、居住問題 	<p>a: 地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口問題、食糧問題、都市・居住問題の背景、課題、対策について理解している。</p> <p>b: 地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口問題、食糧問題、都市・居住問題の背景、課題、対策について多面的・多角的に考察し、表現している</p> <p>c: 地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口問題、食糧問題、都市・居住問題の背景、課題、対策について主体的に追及し、解決しようとしている。</p>	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト 提出ノート	提出ノート 振り返りシート
3学期	自然環境と防災	<ul style="list-style-type: none"> ・プリーとテクトニクスと日本列島 ・新期造山帯と日本列島 ・日本列島と沖積平野 ・日本の気候 ・日本の火山の恵みと災害 ・日本の気象災害と防災 ・減災の取り組み ・被災地への支援 	<p>a: 我が国をはじめ世界でみられる自然災害や生徒の生活圏でみられる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。</p> <p>さまざまな自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身に付けている。</p> <p>b: 地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>c: 自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追及、解決しようとしている。</p>	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト 提出ノート	提出ノート 振り返りシート

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度